

42 0 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成19年3月4日 9時10分～12時00分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は 100 問で解答時間は正味 2 時間 50 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には 1 から 5 までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを
(例 1)では一つ、(例 2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 101 県庁所在地は
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例 2) 102 県庁所在地はどれか。
2 つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例 1)の正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	①	②	●	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③ →	●
④	④
⑤	⑤

(例 2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の ① と ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	●	②	●	④	⑤

答案用紙②の場合、

102	102
①	●
②	②
③ →	●
④	④
⑤	⑤

- (2) ア. (例 1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
- イ. (例 2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 県庁所在地は

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例2) 102 県庁所在地はどれか。

2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	3

と記入すればよい。

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	1 3

と記入すればよい。

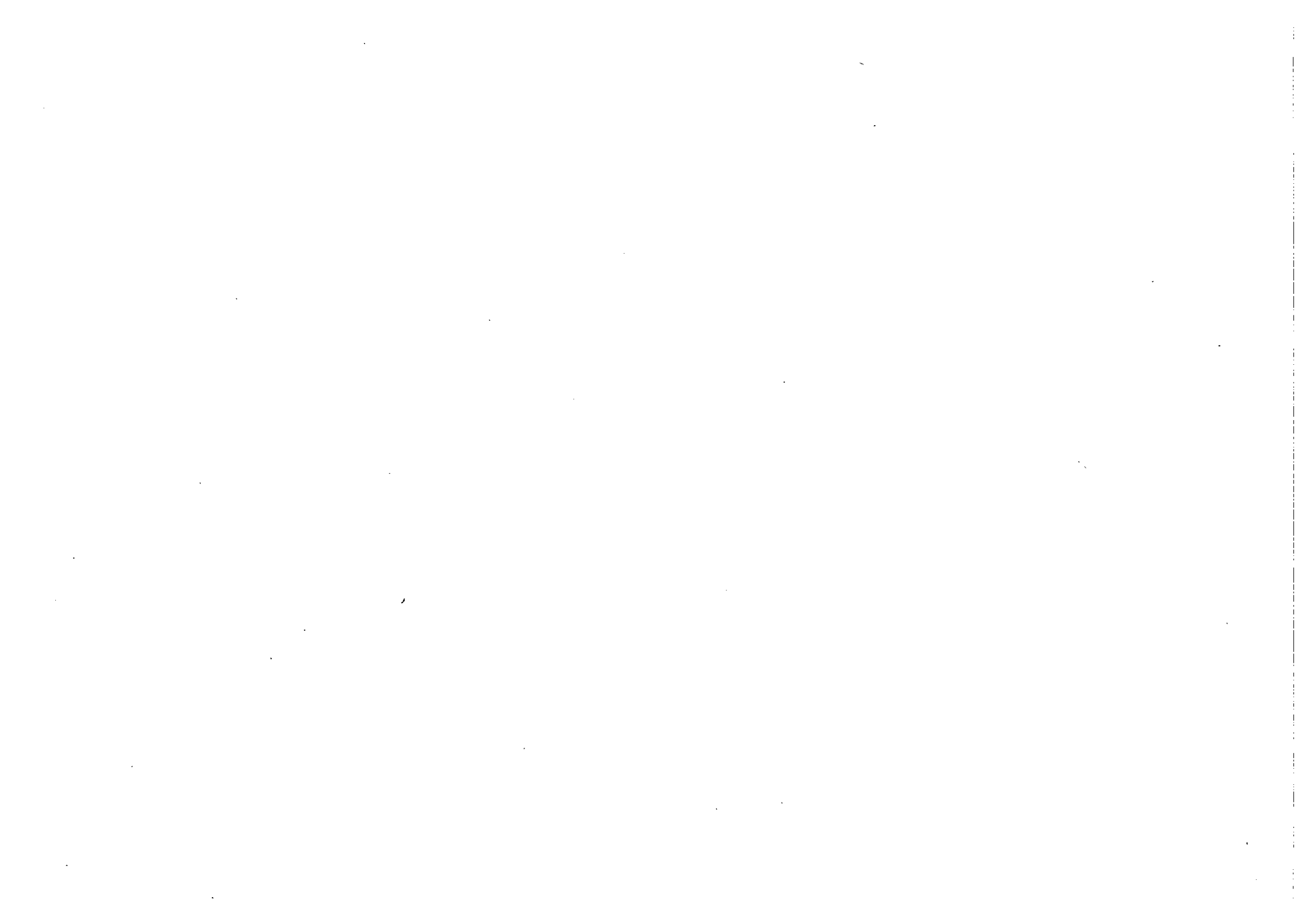
答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

(2) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。

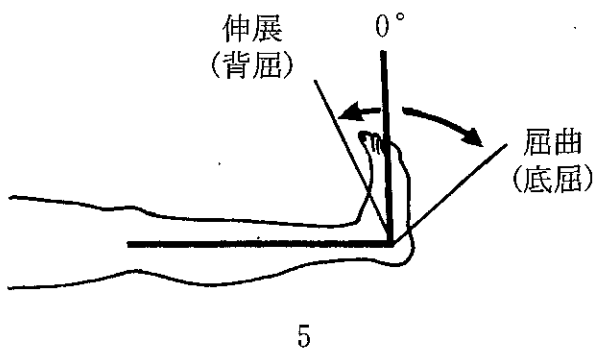
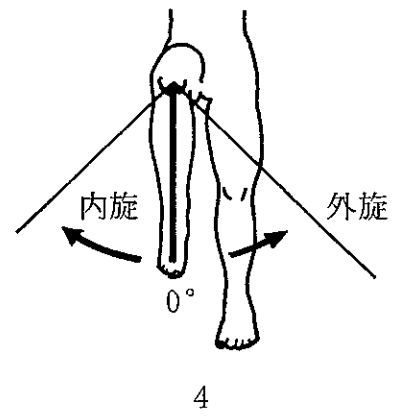
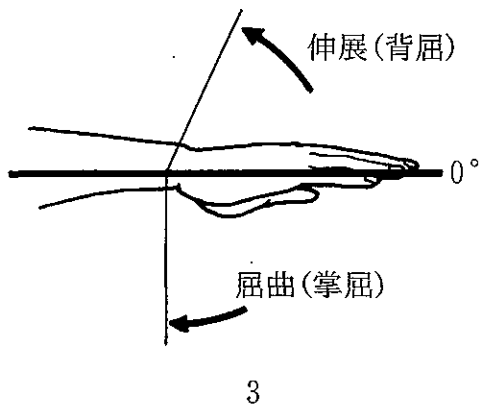
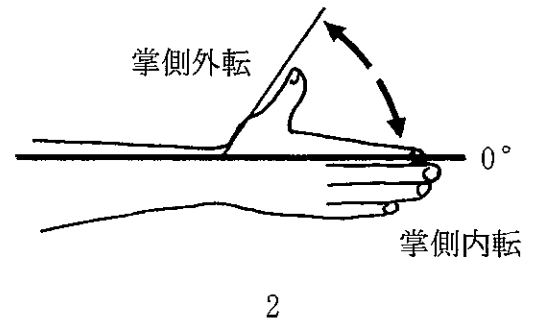
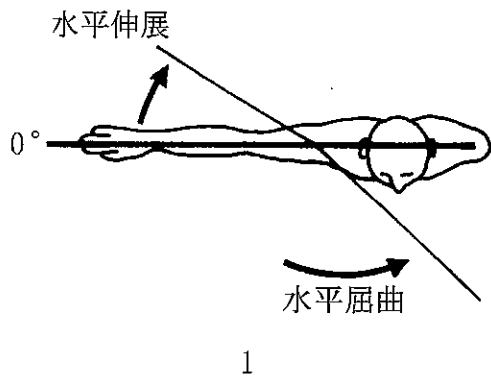
イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。

(3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎指示があるまで開かないこと。



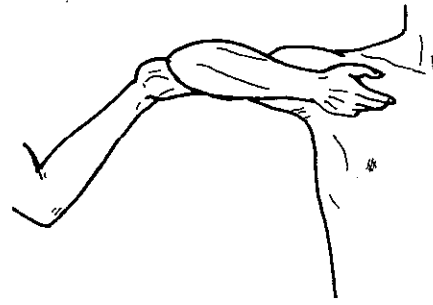
問題 1 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で正しいのはどれか。2つ選べ。



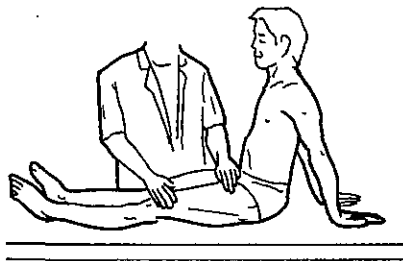
問題 2 ダニエルスらの徒手筋力テストの組合せで誤っているのはどれか。



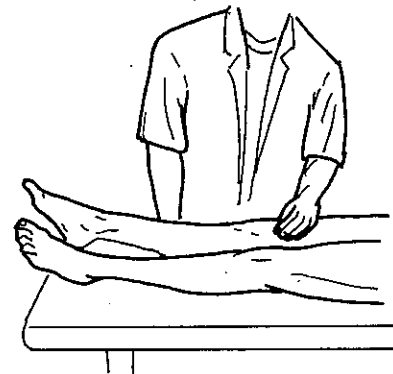
1. 背側骨間筋・段階 5 (Normal)



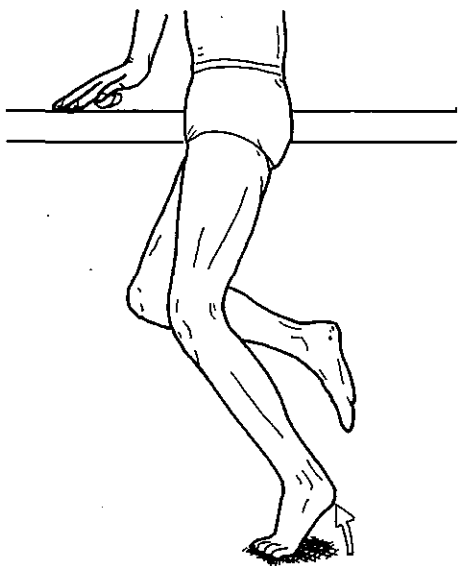
2. 上腕三頭筋・段階 2 (Poor)



3. 大腰筋・段階 1 (Trace)



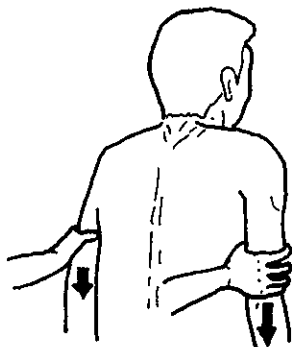
4. 大腿四頭筋・段階 0 (Zero)



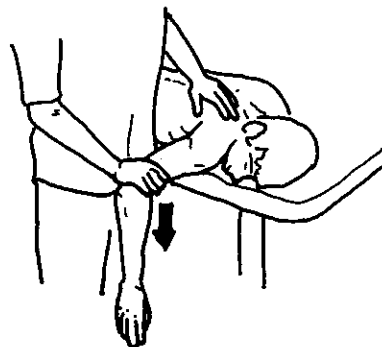
5. 腓腹筋・段階 4 (Good)

問題 3 ダニエルスらの徒手筋力テスト(筋力 5 及び 4)における検査者の手の位置で正しいのはどれか。2つ選べ。

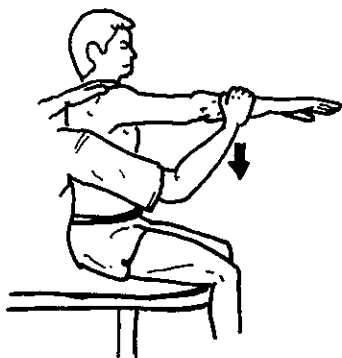
ただし、矢印は検査者の加える力の方向を示す。



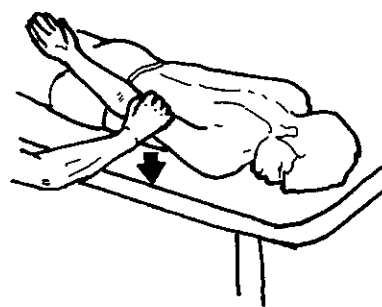
1. 肩甲骨挙上



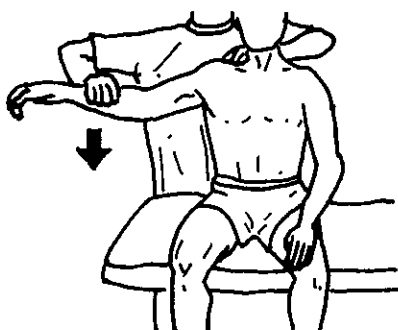
2. 肩甲骨内転



3. 肩関節屈曲



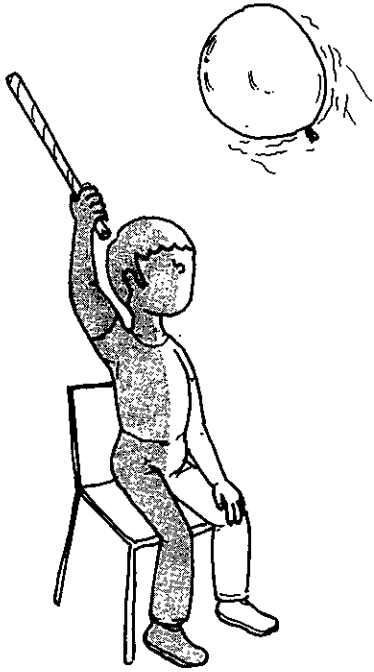
4. 肩関節伸展



5. 肩関節外転

問題 4 60歳の男性。脳梗塞後、5か月。右片麻痺のブルンストローム法ステージ上肢
IV・手指IV。座位は安定している。

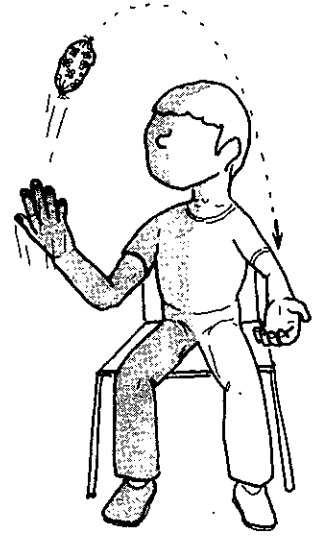
麻痺側上肢の作業療法で適切なのはどれか。



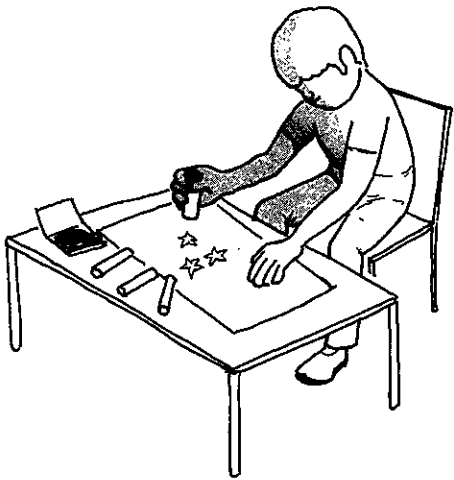
1



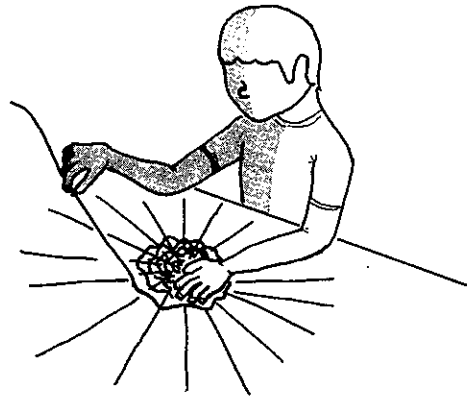
2



3



4



5

問題 5 59歳の女性。脳梗塞発症2週目。左片麻痺のブルンストローム法ステージ上肢Ⅲ・手指Ⅳ・下肢Ⅲ。重度の感覚障害と左半側空間無視を認める。上肢の分離運動がわずかに出現してきたが、左上肢の疼痛と手部の腫脹および熱感を訴えた。理学療法では、立位と歩行訓練が開始された。

この時期の作業療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 左上肢の疼痛に対してホットパック
2. 左上肢の随意性向上のためのサンディング
3. 歩行訓練時のアームスリング装着指導
4. プーリーを用いた左上肢の自動介助運動
5. 左手で机上の用紙を押さえての右手書字訓練

問題 6 68歳の女性。右脳梗塞発症7日目。重度の左片麻痺を認めた。意識は清明。高次脳機能障害は認めない。3ccの水飲みテストで呼吸切迫がみられた。嚥下造影検査で、嚥下時に軽度の不顕性誤嚥と嚥下後の左咽頭残留を認めた。

食事自立に向けた摂食・嚥下の直接訓練で正しいのはどれか。

1. 水から始める。
2. むせを誤嚥の指標とする。
3. 座位姿勢は垂直座位で始める。
4. 頭部を伸展位に保持する。
5. 頸部を左回旋位とする。

次の文により問題 7、問題 8 に答えよ。

48 歳の女性。外傷性脳損傷後 1 か月経過。意識は清明。麻痺は認めない。ミニメンタルステート検査(MMSE)は 30 点。三宅式記銘力検査の正答は有関係対語 10—10—10、無関係対語 2—3—7。ペントン視覚記銘検査即時再生で正確数 10・誤謬数 0、15 秒後の再生で正確数 7・誤謬数 3。

問題 7 障害されているのはどれか。

1. 意味記憶
2. 近時記憶
3. 遠隔記憶
4. 展望記憶
5. 手続き記憶

問題 8 この患者への新しい作業活動の選択で適切なのはどれか。

1. 季節感のあるグループ活動
2. 多くの口頭指示を必要とする活動
3. マニュアルがある活動
4. 絵パズルを用いた構成課題
5. 買物に必要な計算課題

問題 9 40歳の女性。主婦。脳出血後3年経過、右片麻痺。上肢のブルンストローム法ステージ上肢Ⅳ・手指Ⅳ・下肢Ⅳ。「右の手足の突っ張りが強くなった」と訴えている。

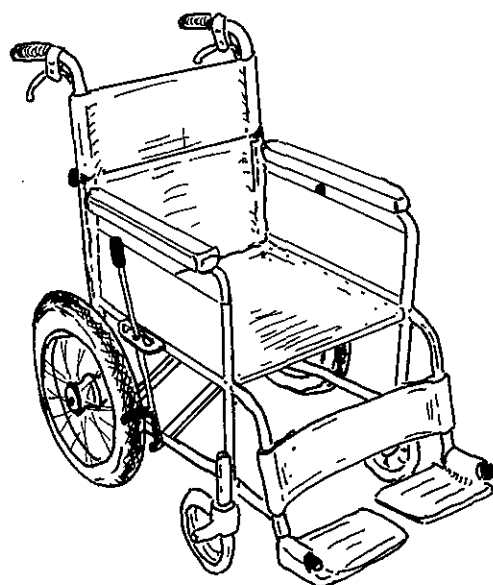
日常生活の指導として誤っているのはどれか。

1. 調理のときはシンクに軽く寄りかかり、右足底にも体重をかける。
2. 食事のときは麻痺側上肢をテーブル上に載せる。
3. 椅子座位では左の殿部に体重をかけて座る。
4. 日に何度かは両手を組んでテーブル上で両上肢を伸ばす。
5. 掃除機を使用するときは、両手を添える。

問題10 22歳の男性。外傷性頸髄損傷後6か月経過。ダニエルスらの徒手筋力テストは、肘関節屈曲5、肘関節伸展2、手関節屈曲1、手関節伸展4、手内筋0、下肢0。ベッドへの移乗が自立したので、図の車椅子に患者を座らせて、屋内で使用する車椅子を検討した。

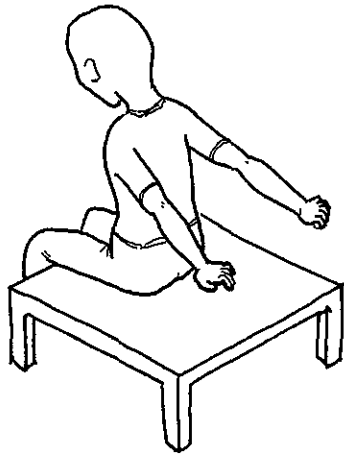
適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 背もたれを肘台と同じ高さまで低くした。
2. 駆動輪の車軸を20cm後方に移した。
3. 駆動輪を14インチに変更した。
4. 足台をスウィングアウト式に変更した。
5. ブレーキをトグル式に変更した。

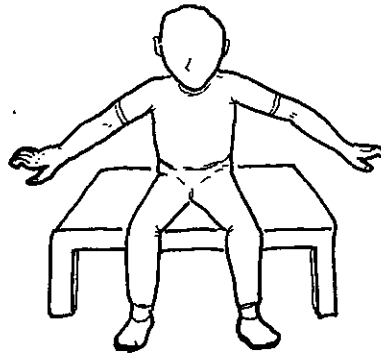


問題11 34歳の男性。転落事故で脊髄損傷(第7頸髄節まで機能残存)受傷後2か月を経過。上肢の支持があれば長座位のバランス保持が可能になってきた。

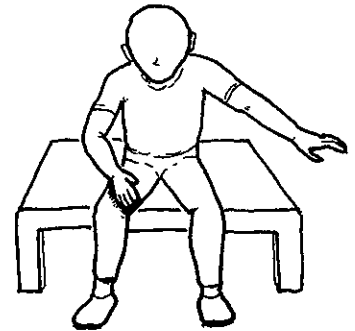
上肢の支持をはずしてバランスの練習をする際に最も導入しやすいのはどれか。



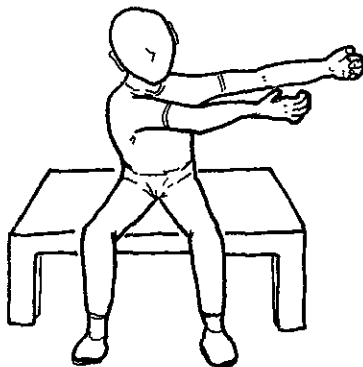
1



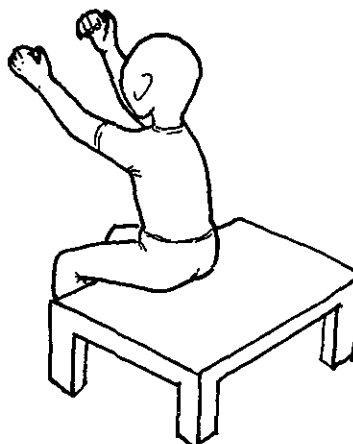
2



3



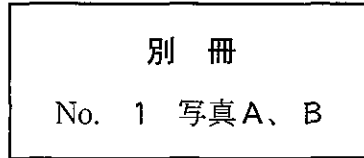
4



5

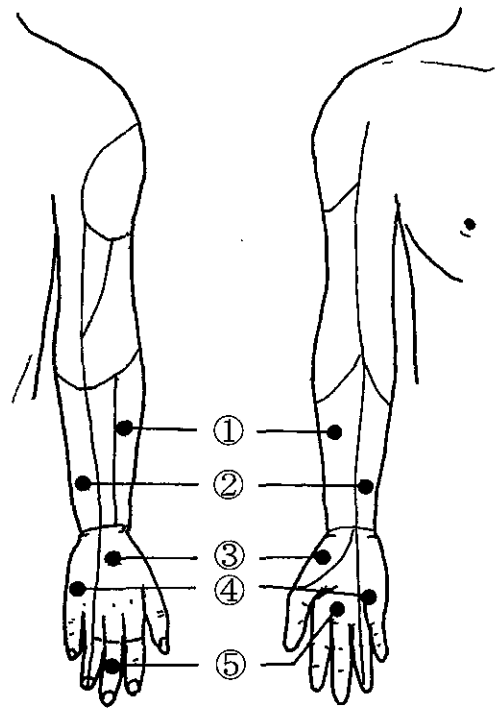
次の文により問題 12、問題 13 に答えよ。

23 歳の男性。スノーボードで転倒し受傷。術前と術後のエックス線写真(別冊 No. 1A、B)を別に示す。



問題12 合併する感覚障害の領域で正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

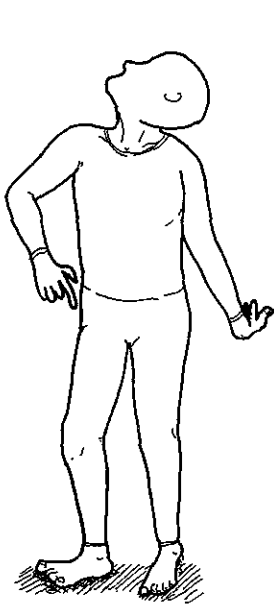


問題13 この患者の作業療法プログラムで誤っているのはどれか。

1. 肘関節の関節可動域訓練
2. MP 屈曲位を保持した握りー放しの訓練
3. 背側・掌側骨間筋の筋力増強訓練
4. コックアップスプリントを用いた装具療法
5. 表在感覚の知覚再教育

問題14 51歳の男性。3年前に歩行時のふらつきが出現した。頭部MRI(別冊No. 2A、B)を別に示す。

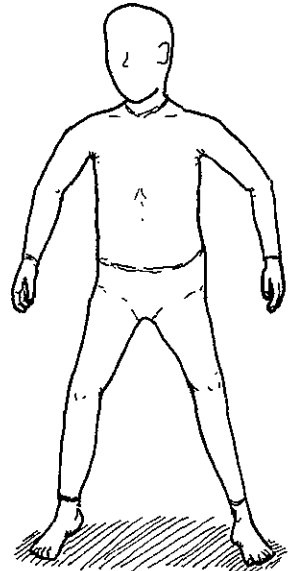
この患者の立位姿勢はどれか。



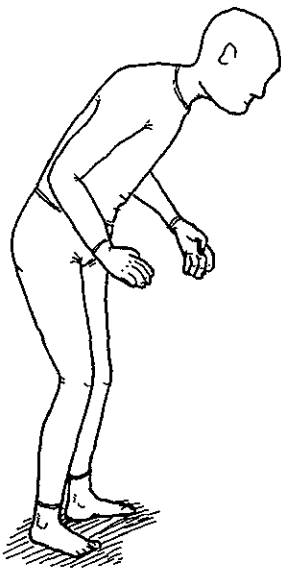
1



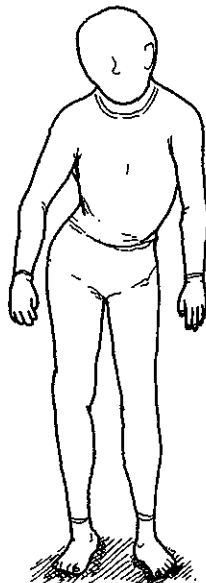
2



3



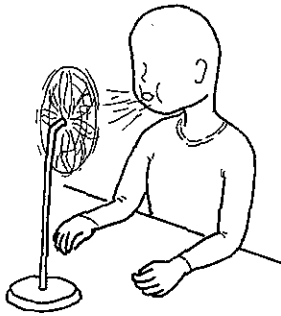
4



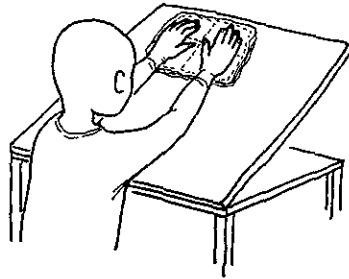
5

別冊
No. 2 写真A、B

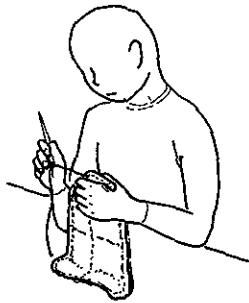
問題15 ヤールの重症度分類ステージⅢのパーキンソン病患者に対する作業療法で適切でないのはどれか。



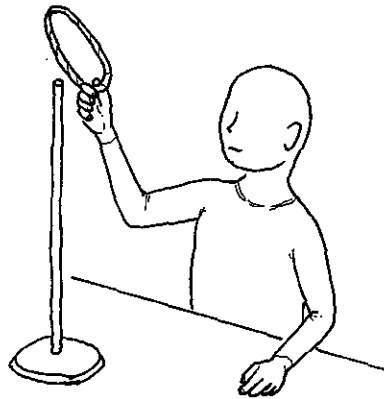
1



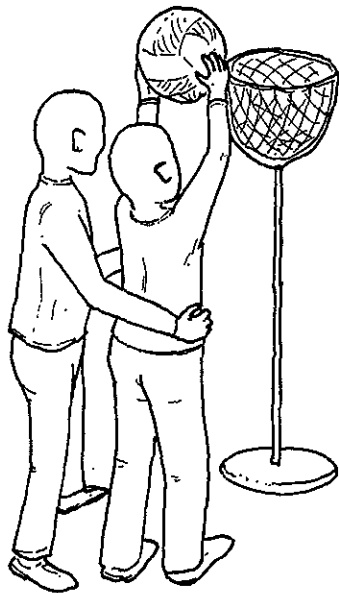
2



3



4



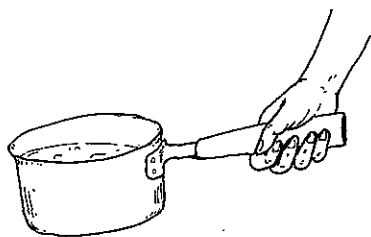
5

次の文により問題 16、問題 17 に答えよ。

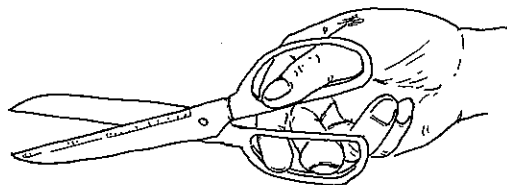
65歳の女性。関節リウマチで外来通院中。上肢の関節可動域制限と手指の変形を認める。手指変形(別冊No. 3)を別に示す。

別 冊
No. 3 写 真

問題16 この患者の生活指導で正しいのはどれか。



1



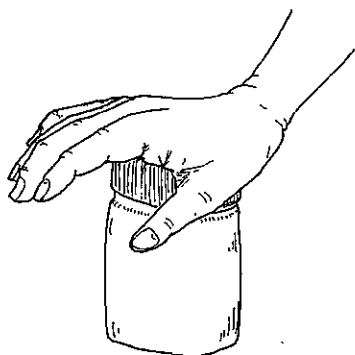
2



3

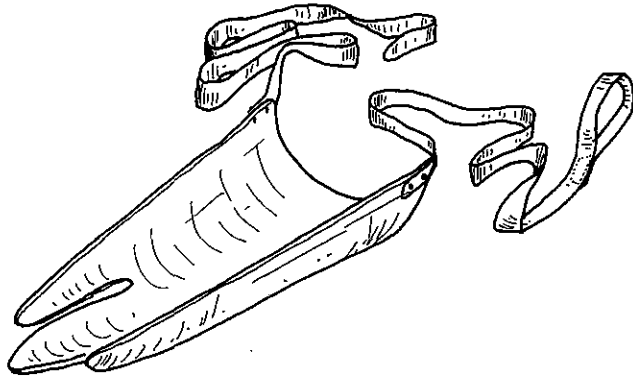


4

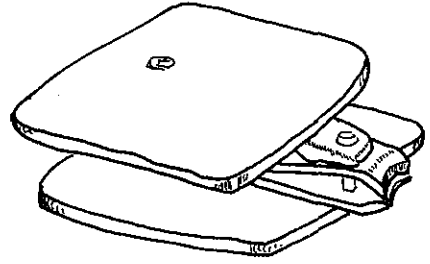


5

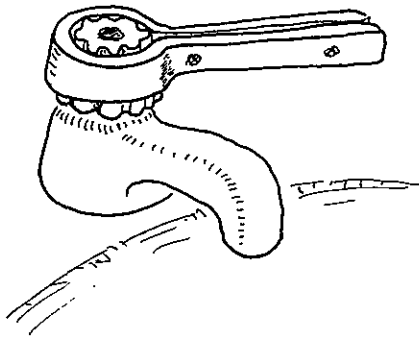
問題17 この患者の上肢関節可動域制限とリーチ範囲の低下を補うための自助具で適切なのはどれか。



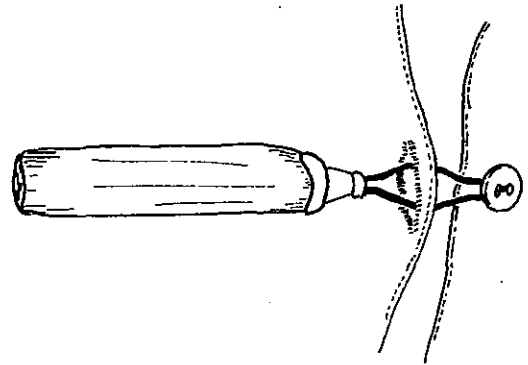
1



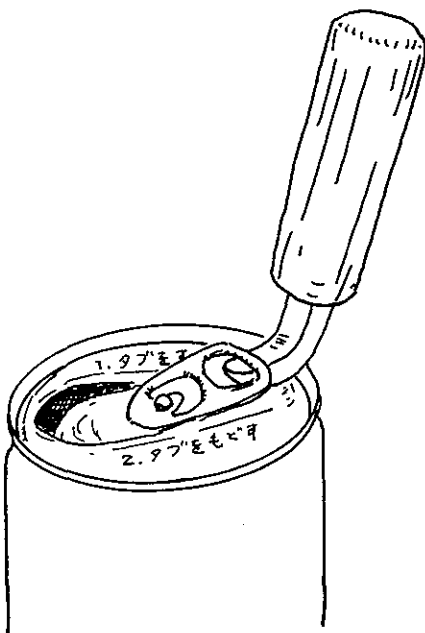
2



3



4

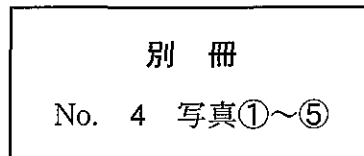


5

問題18 義手のパーツ(別冊No. 4①～⑤)を別に示す。

能動前腕義手を組み立てるときに必要なでないのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤



次の文により問題 19、問題 20 に答えよ。

45 歳の女性。筋萎縮性側索硬化症。上肢近位筋の筋力 4、遠位筋の筋力 3、下肢の筋力 4。病棟内の ADL は自立している。

問題 19 この患者の調理動作訓練で適切でないのはどれか。

1. ゆでざるでめん類を茹でる。
2. 調理用ハサミで野菜を切る。
3. 台ふきんで調理台を拭く。
4. 皮むき器で大根の皮をむく。
5. 電子レンジで食品を温める。

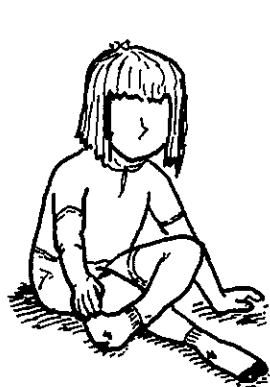
問題 20 最近、「箸が使いにくい」と訴えるようになった。

上肢機能の維持を目的とした作業療法で適切なのはどれか。

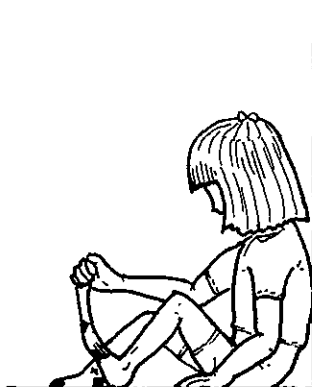
1. 陶芸の菊ねりによる上肢筋力の維持
2. 機織りの整経による上肢可動域の維持
3. 銅板細工による協調運動の維持
4. 革細工のカービングによる手指筋力の維持
5. クロスステッチ刺繍による手指巧緻性の維持

問題21 7歳の女兒。痙直型片麻痺。麻痺手を補助手として使うことはできる。普段の靴下の着脱動作(別冊No. 5)を別に示す。

靴下を脱ぐときの指導で適切でないのはどれか。



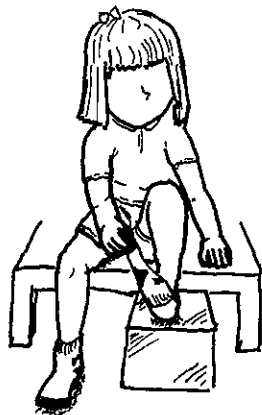
1



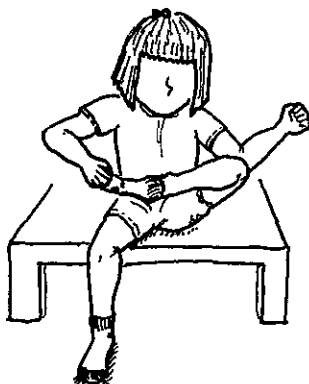
2



3



4



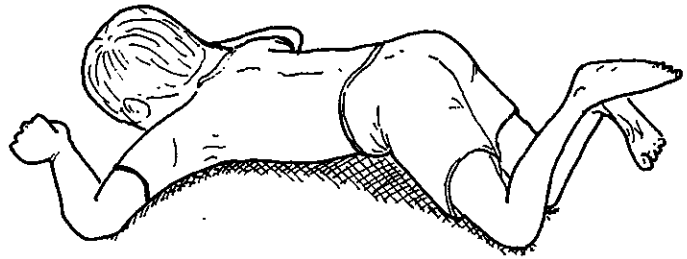
5

別冊
No. 5 写真

問題22 脳性麻痺児を腹臥位にすると図のような姿勢をとった。

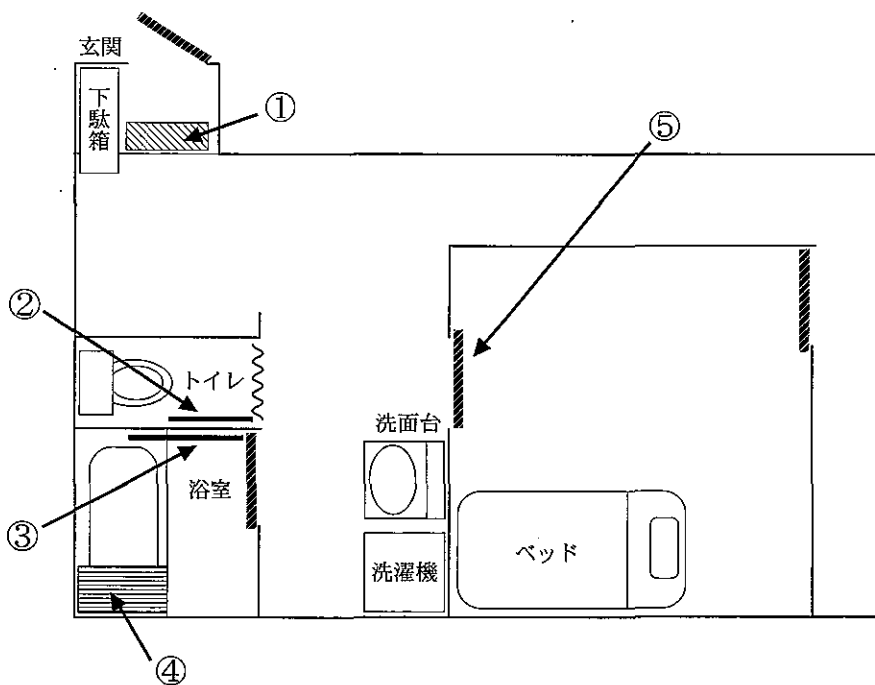
観察できる姿勢反射はどれか。

1. 緊張性迷路反射
2. 緊張性頸反射
3. 交叉性伸展反射
4. ランドウ反応
5. 連合反応



問題23 65歳の女性。左片麻痺。短下肢装具と杖で歩行が可能。発症後6か月経過し自宅に帰ることになった。

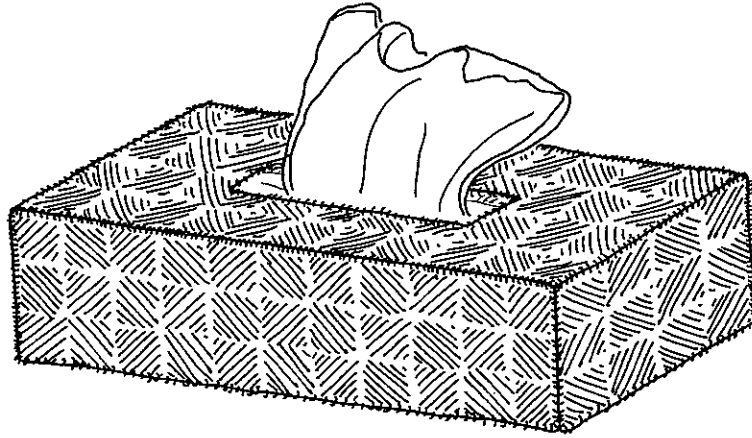
家屋改造で適切でないのはどれか。



1. ①：玄関の上りかまちに踏み台を置く。
2. ②：便器に向かって左側に手すりを設置する。
3. ③：浴室出入り口の右側に手すりを設置する。
4. ④：浴槽の向かって左側にトランスファーボードを置く。
5. ⑤：自室の出入り口を引き戸にする。

問題24 ネット手芸で図のようなティッシュボックスを作製する。

目的とする段階づけで適切でないのはどれか。

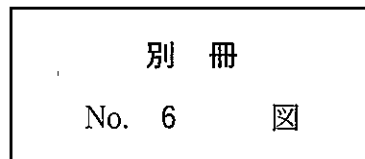


1. 作業時間の調整———全身の耐久性
2. ネットの細かさ———手指の巧緻性
3. 編む方向———手指の可動域
4. 糸と針の太さ———手指の筋力
5. 図案の複雑さ———構成能力

問題25 心電図と所見との組合せ(別冊No. 6)を別に示す。

誤っているのはどれか。

1. 正常洞調律
2. 心室性期外収縮
3. 完全房室ブロック
4. 心房細動
5. 心房性期外収縮



問題26 59歳の女性。脳梗塞発病後、小梗塞の再発を繰り返し精神症状が前景化したため、精神科病院に転院になった。記銘力障害があるが、理解力や判断力は日によって波がある。言語がやや不明瞭で、移動は小刻み歩行である。

この患者の病態で正しいのはどれか。

1. 仮性認知症
2. 早発認知症
3. まだら認知症
4. 全般性認知症
5. 視床性認知症